

展示室における学び

～展示室でのツールに関するディスカッション～

林原自然科学博物館 井島真知

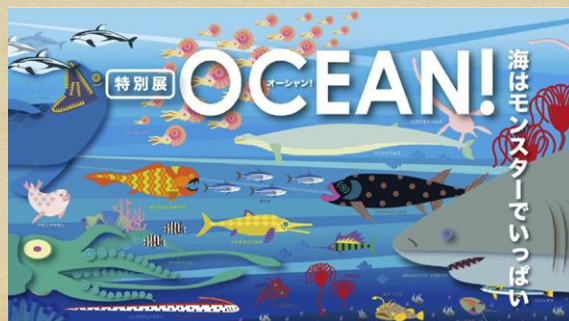
展示を
つくる立場

展示で伝えたいこと
メッセージ

利用者の経験を
理解する立場

博物館の意図とは
関係なく存在

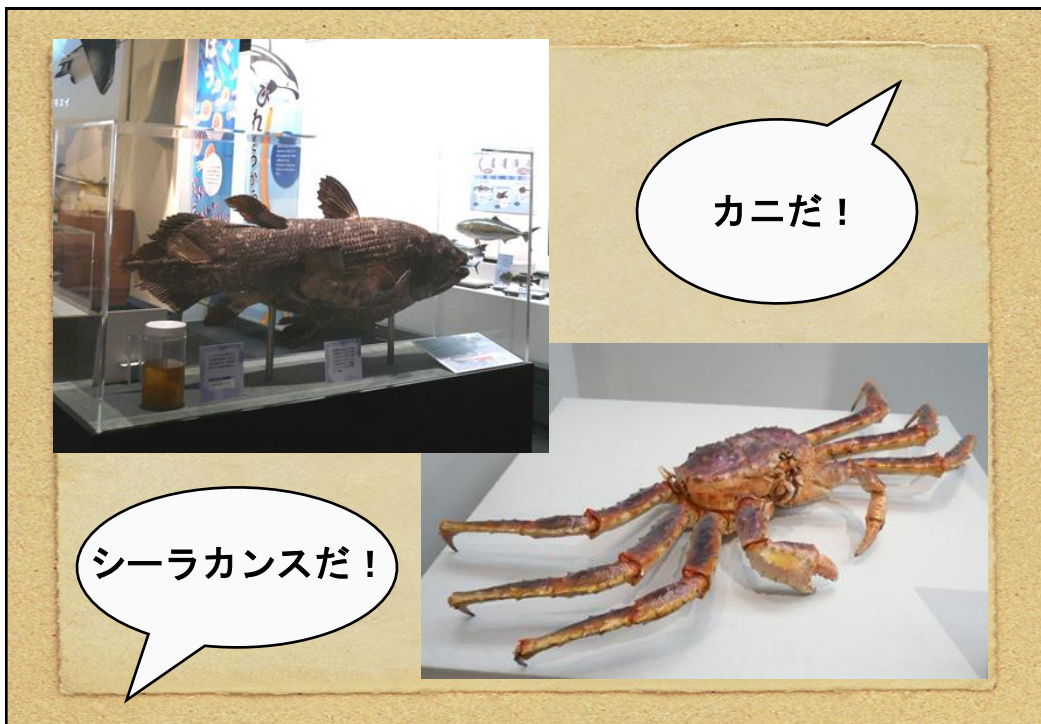
- ・ 海にはいろいろな環境がある（海ならではの環境も）
- ・ いろいろな環境に適応して、いろいろなかたち（生き方）の生物がいる（いた）
- ・ そのいろいろな生物同士がかかわっている
- ・ 時代を通じて環境は移り変わり、生物も移り変わる



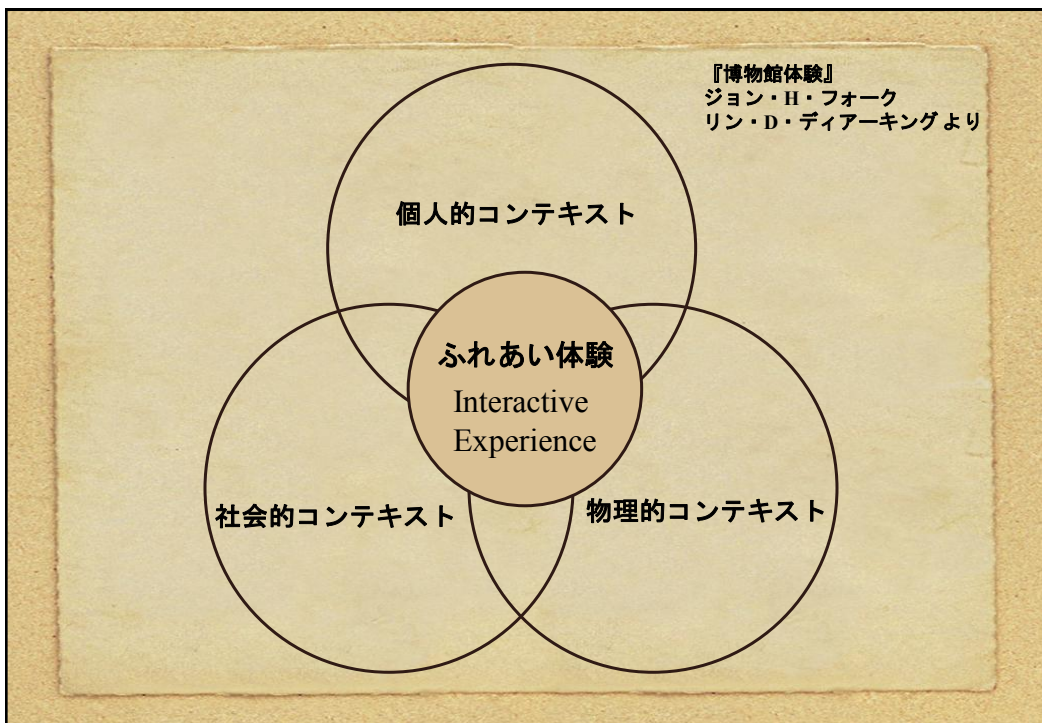
泳ぐ はう

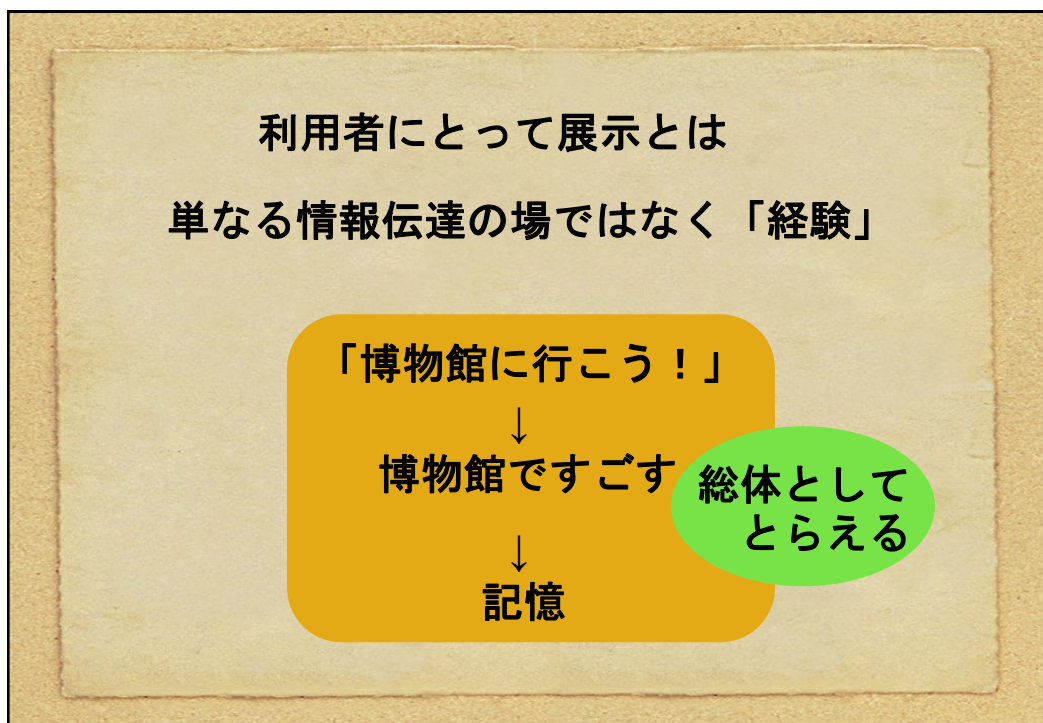
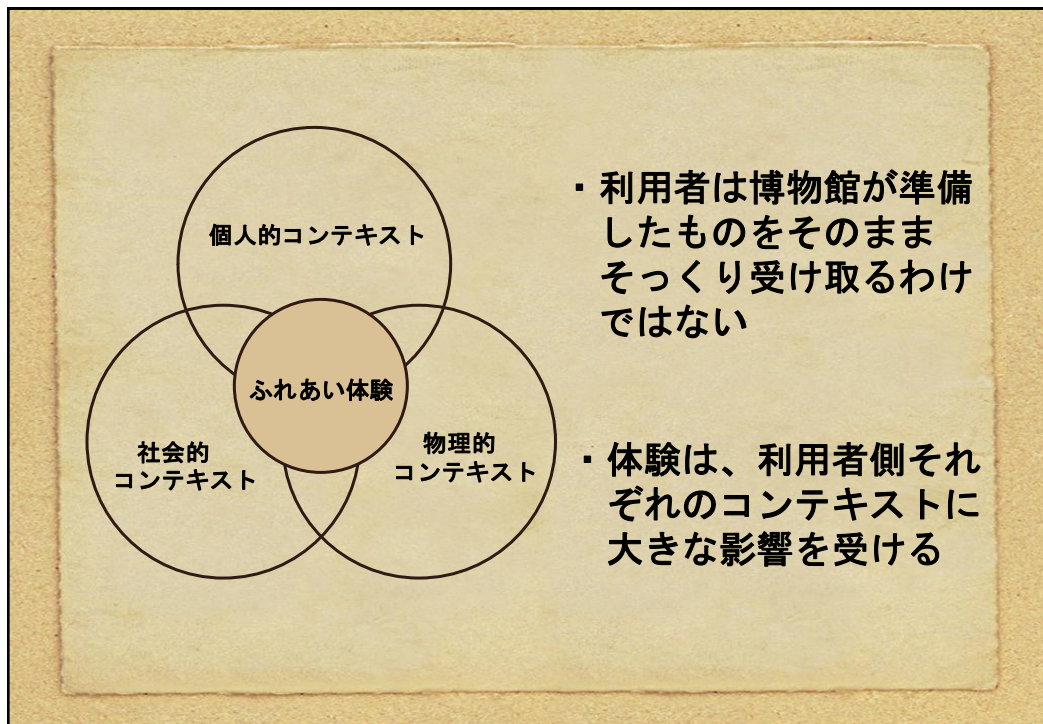
- ・ ひれをつかう
- ・ 底をはう、歩く
- ・ 水を吹き出す





利用者自身が気になった「点と点」を
「利用者独自の方法で」つなぎあわせて
「意味をつくりだして」いる



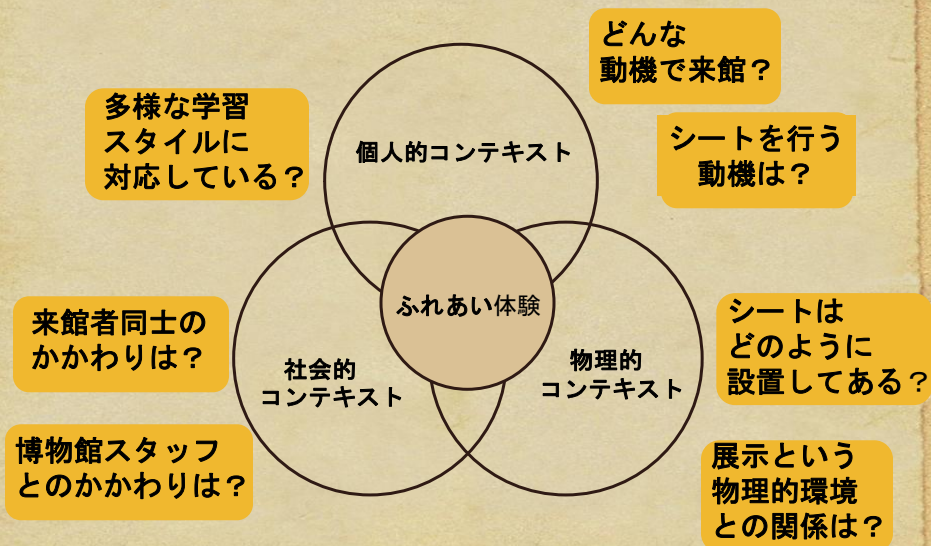


展示室での学びを促す「ツール」

を題材としてのディスカッション

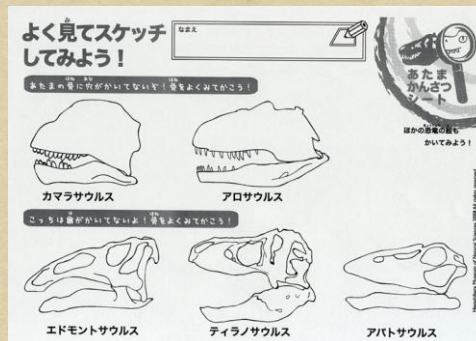
- ・ いろいろなねらい いろいろな方法
- ・ 展示室でどんな風に利用されている？

例えばワークシートについても、シートだけを見るのではなく…



観察シートをめぐるいろいろ

「資料をよくみてほしい」「くらべてみてほしい」



・ どこを見たらいいかの
きっかけになるように

・ 絵の苦手な人も
とりくみやすいように

Discussion1

年齢別にシートを何種類か
つくってほしい

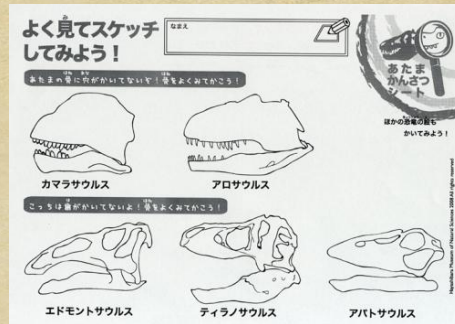
- ・ 大人も子どもも、年齢に関わらず、それぞれに楽しめる設問もできるのでは？（難しいけど）
- ・ 必ずしも「ひとりで」とりくむわけではない
- ・ 大人が子どもに関わるきっかけになることも



Discussion2

回答を貼る？配る？

- ・ 見ればわかる（標本が答え）
- ・ 答えにも幅がある
→ 答えいらない？？



とはいえ...

- ・ 正解を知りたい気持ちに応える必要（フィードバックが必要）
- ・ 運営スタッフがその場で対応する方法も

Discussion3

答えをひとつにしたい！

- ・ 設問の答えはスタッフへ
- ・ 利用者の回答に応じた対応



- ・ 話しかけやすい雰囲気づくりやスタッフのトレーニングは必須
- ・ フロアスタッフとの交流のきっかけとして積極的に利用

Discussion4

シートを完成させたら
何かくれるの？

- ・何かをあげないと
やる価値がないのか？

→外的動機づけでなく
内的動機づけが欲しい

- ・報酬としてのおみやげではなく
どんな意味が考えられるか

→その日の体験の記憶を持続させるもの などなど



Discussion4

評価するしくみ
改善するしくみ



- ・設問のあるところしか
見ていない？
- ・見つからなくて右往左往？
- ・利用者にとってほどよい
チャレンジになっている？
- ・設問の意図は
達成されている？

- ・入場者数他、展示室運営の方針
とあっている？

展示室での学びとは???